



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月27日

上場会社名 株式会社MARUWA 上場取引所 東 名
 コード番号 5344 URL <https://www.maruwa-g.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神戸 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 後藤 孝市 TEL 0561-51-0841
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有

百万円未満切捨

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	11,112	23.7	3,182	47.7	3,236	49.9	2,211	53.0
2021年3月期第1四半期	8,981	△13.5	2,154	△3.5	2,158	△2.0	1,445	△4.6

（注）包括利益 2022年3月期第1四半期 2,216百万円（49.4%） 2021年3月期第1四半期 1,483百万円（37.8%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	179.24	—
2021年3月期第1四半期	117.21	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	79,107	68,132	86.1
2021年3月期	78,059	66,344	85.0

（参考）自己資本 2022年3月期第1四半期 68,132百万円 2021年3月期 66,344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	28.00	—	36.00	64.00
2022年3月期	—				
2022年3月期（予想）		34.00	—	34.00	68.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	20,000	2.4	5,000	6.7	5,000	7.7	3,500	10.9	283.72
通期	42,000	1.4	11,000	7.3	11,000	6.5	7,500	8.1	607.99

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年3月期1Q	12,372,000株	2021年3月期	12,372,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	34,270株	2021年3月期	36,327株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年3月期1Q	12,336,524株	2021年3月期1Q	12,331,951株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(金額単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期累計期間より百万円単位をもって記載することに変更しました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の制限が長期化し、感染症対策により一部で回復の動きがみられるものの、全般的な経済活動の持ち直しには依然として時間を要する状況になりました。

グローバルマーケット市場において情報通信関連では、次世代高速通信市場の拡大や情報ネットワークの増強など、通信技術の用途の広がりが進んでいます。車載関連では各国が掲げる脱炭素に向けた取り組みにより、EVの普及が想定以上のスピードとなってきました。半導体関連では、グローバル市場で半導体不足のため、大幅な投資が行われております。弊社が目指すこれらの市場は大きなチャンスとなってきました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、創業から培ってきた材料技術により優れた特性の材料を開発・製造し、それらの材料技術に要素技術を融合することによる技術革新を推し進めてまいりました。さらに将来を見据えた技術開発の強化はとて重要であり引き続き力を入れるとともに、ESG、環境問題を第一にとらえ、メーカーとしての在庫削減、歩留まり向上を目指すことも重要であると考えております。

当四半期では3年間の構造計画も終了し、高収益商品への変更に伴う負の資産もなくなり、売上高は、前年同期比23.7%増の11,112百万円となりました。利益につきましては、戦略的な高付加価値製品の増加や生産性向上などによる利益率の改善に努めた結果、営業利益は前年同期比47.7%増の3,182百万円、経常利益は前年同期比49.9%増の3,236百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比53.0%増の2,211百万円となりました。

以上の取り組みにより、売上高営業利益率は前年同期24.0%から4.6ポイント増の28.6%となり、第1四半期として過去最高の結果となりました。

セグメント別の売上高と利益の状況は次のとおりです。

①セラミック部品事業

当事業においては、材料技術や要素技術を活かした差別化製品が堅調に推移し、収益性の向上に向けた体質強化に力を入れてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比28.3%増の9,435百万円、セグメント利益は前年同期比46.1%増の3,275百万円となりました。

②照明機器事業

当事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う公共事業案件の遅れなどがありましたが、高輝度性能や配光性能が向上した製品、高演色光源を利用した製品などに注力し、収益性向上に向けた工程改善を積極的に進めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比3.1%増の1,676百万円、セグメント利益は前年同期比11.2%増の149百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期における連結の総資産は79,107百万円となり、前期末と比較して1.3%増加しました。

負債は10,975百万円となり、前期末と比較して6.3%減少しました。

純資産は68,132百万円となり、前期末と比較して2.7%増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月27日に公表しました2022年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,088	36,135
受取手形及び売掛金	9,834	9,617
電子記録債権	1,267	1,444
商品及び製品	1,641	1,669
仕掛品	2,277	2,453
原材料及び貯蔵品	2,463	2,824
その他	2,148	864
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	53,714	55,002
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,012	17,305
減価償却累計額	△6,967	△7,234
建物及び構築物 (純額)	10,044	10,070
機械装置及び運搬具	22,354	23,054
減価償却累計額	△17,149	△17,770
機械装置及び運搬具 (純額)	5,204	5,284
土地	4,544	4,548
建設仮勘定	1,889	1,641
その他	3,887	4,699
減価償却累計額	△3,238	△4,008
その他 (純額)	648	690
有形固定資産合計	22,332	22,236
無形固定資産		
その他	260	266
無形固定資産合計	260	266
投資その他の資産	1,752	1,602
固定資産合計	24,345	24,105
資産合計	78,059	79,107

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,404	2,583
電子記録債務	1,931	1,933
短期借入金	100	100
1年内返済予定の長期借入金	266	266
未払法人税等	1,986	849
賞与引当金	699	447
役員賞与引当金	49	2
その他	2,172	2,749
流動負債合計	9,612	8,933
固定負債		
長期借入金	1,599	1,533
繰延税金負債	160	166
その他	342	342
固定負債合計	2,103	2,041
負債合計	11,715	10,975
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,646	8,646
資本剰余金	12,005	12,017
利益剰余金	46,796	48,554
自己株式	△217	△205
株主資本合計	67,231	69,014
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	119	111
為替換算調整勘定	△1,006	△993
その他の包括利益累計額合計	△886	△881
純資産合計	66,344	68,132
負債純資産合計	78,059	79,107

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	8,981	11,112
売上原価	4,909	5,743
売上総利益	4,072	5,368
販売費及び一般管理費	1,917	2,186
営業利益	2,154	3,182
営業外収益		
受取利息	14	11
受取賃貸料	26	25
為替差益	—	26
その他	17	11
営業外収益合計	58	75
営業外費用		
支払利息	0	2
投資不動産賃貸費用	11	10
為替差損	23	—
その他	18	8
営業外費用合計	54	21
経常利益	2,158	3,236
特別利益		
固定資産売却益	0	0
子会社清算益	11	—
特別利益合計	11	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	1
感染症関連損失	67	—
特別損失合計	67	1
税金等調整前四半期純利益	2,102	3,234
法人税、住民税及び事業税	447	859
法人税等調整額	210	163
法人税等合計	657	1,023
四半期純利益	1,445	2,211
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,445	2,211

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	1,445	2,211
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40	△8
為替換算調整勘定	△2	13
その他の包括利益合計	38	5
四半期包括利益	1,483	2,216
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,483	2,216

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、照明機器事業における一部の取引について、出荷時に収益を認識する方法から顧客との契約における履行義務が充足された時点で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

なお、収益認識会計基準等の適用による、当第1四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	セラミック部品 事業	照明機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,355	1,626	8,981	—	8,981
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	3	4	△4	—
計	7,355	1,630	8,986	△4	8,981
セグメント利益	2,241	134	2,375	△221	2,154

(注) 1. セグメント利益の調整額△221百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△220百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	セラミック部品 事業	照明機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,435	1,676	11,112	—	11,112
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	3	4	△4	—
計	9,436	1,680	11,117	△4	11,112
セグメント利益	3,275	149	3,424	△242	3,182

(注) 1. セグメント利益の調整額△242百万円には、セグメント間取引消去4百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△246百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。